

6. 所内スコアオリエンテーリング【所要時間 60分～170分 200名】

(1) ねらい 所内スコアオリエンテーリングマップを手がかりにして、所の敷地内に前もって設置してある50カ所のポイントを回り、暗号を完成させ、それを解く活動である。班員が協力しあって作戦を立て、機敏な判断力と最後までやり遂げようとする忍耐力を身につけさせる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：身軽な服装，帽子，タオル，防虫剤
- 引率者：チームの編制（5～6人が最適），安全確認係，救急薬品
- 所員：所内スコアオリエンテーリングマップ，チェックカード，ゼッケン，ポストカード見本，筆記用具，スタート係，ゴール係，計時係，業務用無線，防虫剤

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 所内活動ではあるが，安全に注意させること。
- マムシ，ハチ，ハゼノキなどから身を護るため，マップの斜線内には入らないようにさせる


(4) 活動展開例

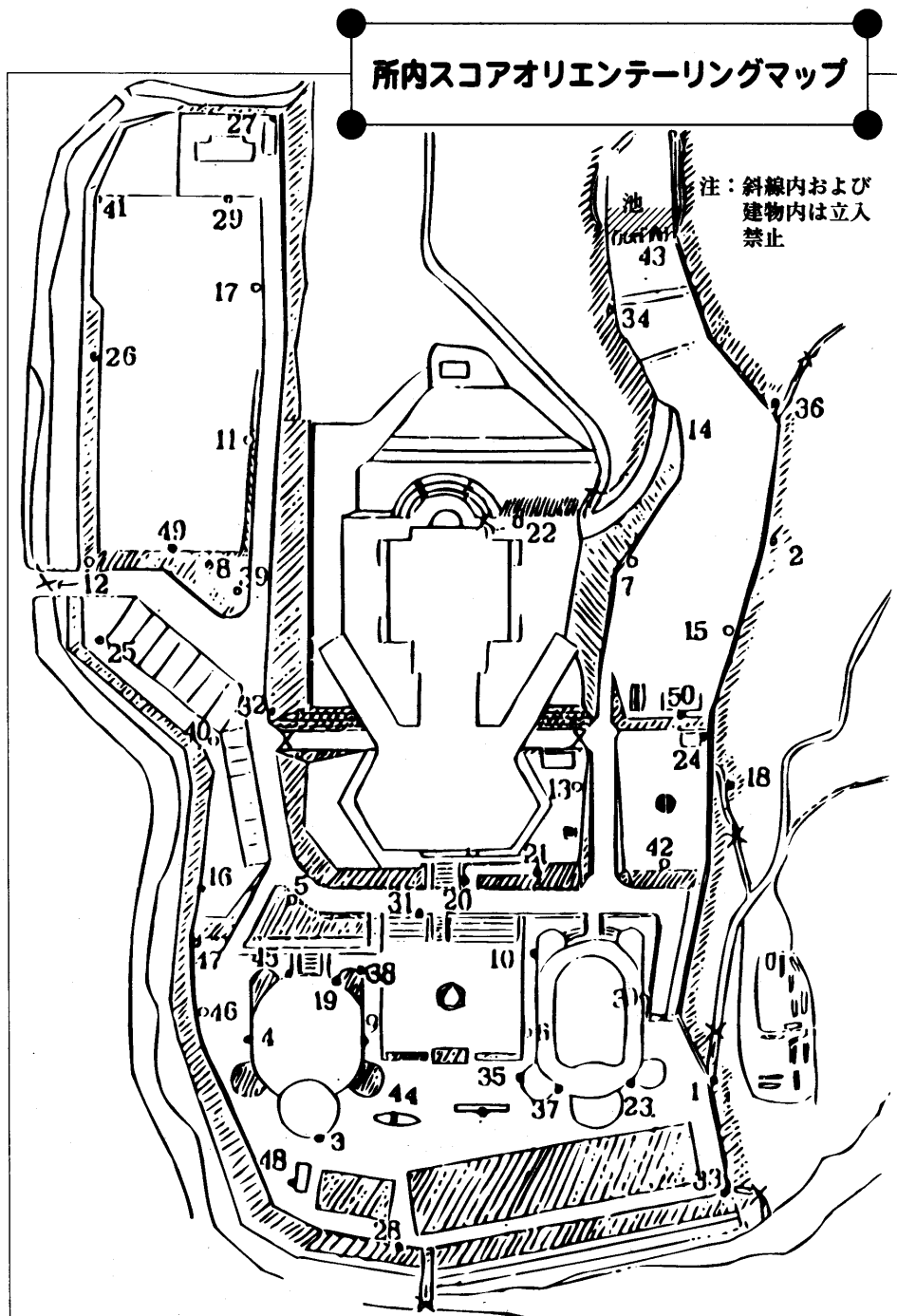
活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 集合，点呼をする。	5	●体調の悪い時は，引率者に申し出る。	●つどいの広場
2. 活動内容の説明を聞く。	10	●所内スコアオリエンテーリングマップを手渡す時期，スタート時刻，ポイント記号，ゴール位置など説明事項についてよく聞くようにする。 ●スコアオリエンテーリングの形式，個人またはチームでの活動方法を理解し，地図の見方を知る。 ●順位にこだわりすぎて，けがをしないように注意する。 ●所の建物や施設に立ち入ったり，植え込みをいためないようにし，正門，敷地外にでないように十分注意する。	●地図 ●チェックカード
3. スタートする。	40 }	●所内は相当広いので，準備運動をして無理をしないようにする。 ●安全確認係は，所内地域を巡回して事故防止につとめる。	●スタート係 ●安全確認係
4. ゴールチェックを受ける。		●ゴールチェックは，時計係の指示に従って，ゴール係が正確に行う。	●ゴール係
5. 集合し，まとめをする。	5	●活動全般について話をし，用具などの後始末をする。	●ゲート

備考：スタートの方法には，タイムスタート方式（1分～3分時差）と，一斉スタート方式があり，活動人数によって選ぶようにする。

資 料

所内スコアオリエンテーリングマップ

- ①ポイントは、所内50カ所に設けてある。
- ②屋外で、敷地内に限定している。
- ③マップの  の部分、建物内及び正門や遊歩道の×印のついている所へは立ち入っては
いけない。



II 海の活動

1. いかだ活動【所要時間 120分～170分 (10名×15台=150名まで)】

(1) ねらい 身近にある素朴な材料を使い、原始的な方法でいかだを組み立て、海に浮かばせ楽しむ一連の共同活動を通して、協力することや責任を果たすことの大切さと、工夫をこらして作りあげる喜びを感得させる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：水着，ぬれてもよい靴，バスタオル，着替え，ぬれてもよいTシャツ
- 引率者：救急薬品，班編制（1班10名程度で15班以内）
- 所員：丸太，ブイ，合板，ロープ，命綱，救命胴衣，ハンドマイク，旗，業務用無線

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 「油断しない」「無理をしない」等，安全について事前指導を徹底させる。
- 引率者の役割分担（本部，指導係，監視係，保健係，連絡係等）を明確にし，所員との実施上の連絡を密にする。
- 活動前に必ず身体の状態を観察を行う。
- 活動中，細心の警戒を怠らないようにし，子どもたちの安全についてあらゆる角度から注意する。
- 命綱の結びを確認する。
- 命綱の保持に責任をもたせる。

(4) 活動展開例

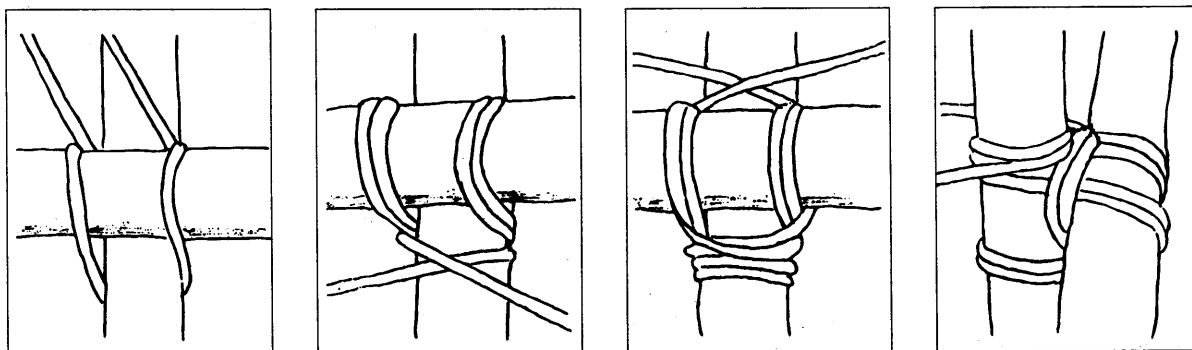
活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. いかだ活動の準備を行う。		●宿泊棟で水着に着替え，着替えを袋等に入れ，プールの更衣室に整理整頓しておく。	
2. 集合，点呼，健康観察をする。	5	●体調の悪い時には，引率者に申し出る。	●つどいの広場
3. 説明を聞き，用具を受け取る。	15	●救命胴衣を着用する。 ●用具の配布，役割分担，注意事項の指導をする。	●ハンドマイク ●救命胴衣
4. 移動し，説明を聞き，いかだを組み立て海に入る。	30	●材料を準備する。いかだの組み立てや，ロープの結び方を知り，協力して作業する。 ●移動の際には，用具の運び方に注意する。 ●班ごとに準備運動をする。	●小島の浜

5. いかだ活動をする。	30	●引率者と所員は、協力して、安全確保に万全を期し、全員救命胴衣の着用を確認する。	
	↓		
6. 集合, 点呼する。	80	●きまりを守って、いかだ活動をする。	
7. いかだを分解する。	5	●班ごとに、確実に人員点呼を確認する。	
	10	●協力して、いかだを分解し、用具の点検をする。	
8. 移動し, 用具を整理場所に返却する。	15	●シャワーを浴び, 砂を十分落とす。	●つどいの広場
		●用具は砂をおとし, 所定の場所に返却する。	
9. プールで泳ぐ。	10	●飛び込み, 悪ふざけをしない。	
		●プール使用上の心得を守る。	

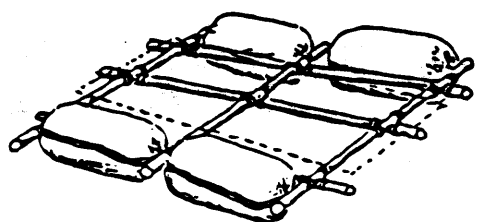
備考

- ①強風波浪注意報が出ている時や、天候（雨、風、波、雷）の状態が急に悪化した場合は、所員と引率者の相談により中止する場合がある。
- ②原則として海水温と気温の合計が45℃以下の場合は中止する。
- ③クラゲが多量に発生した場合は中止する。

●ロープの基本的な結び方

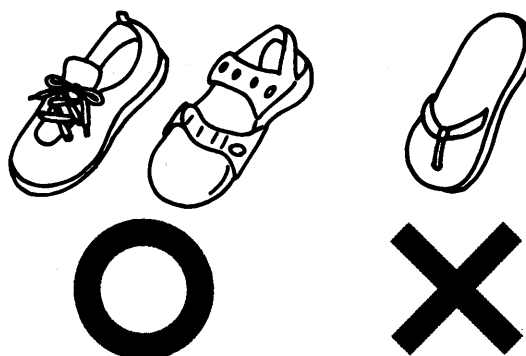


●いかだの基本的な形



(例) ぬれてもよい靴

- 古い運動靴やかかと止め付のサンダル等
- ビーチサンダル等のぬげやすい物は不可



いかだ活動の概要



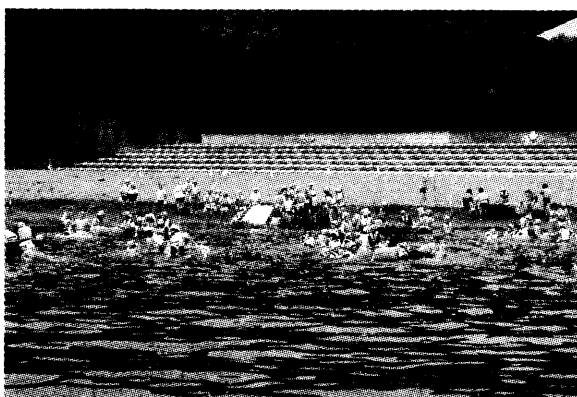
① プール棟横で説明を聞く



② ブイを取り付ける



③ 命づな、合板、ロープを使って組み立てる



④ いかだを海へ出す



⑤ いかだに乗って活動する



⑥ いかだを陸にあげ分解する